

# 夢追い人

## 生徒の自尊心と

## 未来を育てる学校

大川樟風高等学校

校長 山田 和弘 さん



樟風高校校門



大川樟風高等学校（以下、樟風高校）は、創立一〇二年の歴史を刻む大川高等学校と八四年の伝統を誇る大川工業高等学校が再編され、平成十五年に開校した大川市内唯一の高等学校です。今回の夢追い人は樟風高校で校長を務められる山田先生にお話を伺いました。

### 総合型高校である強み

樟風高校には、全日制課程と定時制課程があります。三年制である全日制課程は、文理科・普通科・住環境システム科があります。また近隣の市町村にある高等学校では唯一定時制が設置されている高校（※）となります。「文理科はいわゆる特進科です。中学校に学校説明へ伺った時には、中学校時代から『大進学へ進学するんだ』という気持ちがある生徒には、この科を勧めています。普通科は中

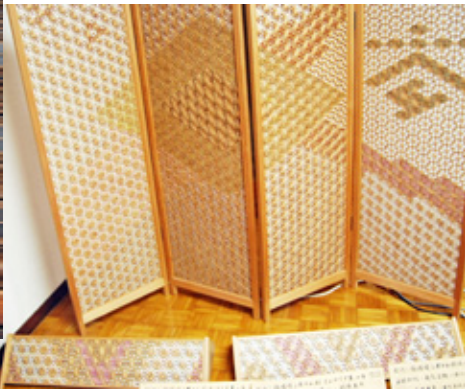
学校時代に将来のビジョンが明確でなく、よくわからないなど思っている生徒でも、高校で自分の適性などを学んだうえで自分の進路を決められるようになっていきます。学んでみてから上級学校に進みたいと思ったり普通系、簿記会計の検定や資格を取って事務系の仕事に就きたいと思ったりなら商業系、福祉の仕事をしたいと思ったりなら看護福祉系といったふうに分かれています。住環境システム科は、工業系の流れを汲んだ科となっています。リビングシステム系はいわゆる建築を、インテリア系は椅子などの家具について学びます。大川組子の実習もインテリア系で行っています。」

キャリア教育に力を入れ、自らの進路を決めて、そこに進んでからも発揮される志・能力・学力などを身に付ける教育を行っているとのこと





校長室にある生徒制作の大川組子▲▶



した。  
樟風高校は、総合型高校であるとお話されました。総合型高校とは、いったいどんなものなのでしょう。  
「自分で時間割を組むといった自由度はありませんが、学科を超えて勉強することができます。三つの科それぞれ

の特色が出ている総合選択科目があり、生徒一人一人が興味・関心のある分野の授業を選択できるようになっています。例えば、『みんなで福祉』『基礎からの作文』『英語ステックアップ』『プレゼント電卓』など十九科目あります。もちろん資格についても学科を超えて取得することができます。特に『みんなで福祉』は、国際医療福祉大学と連携し、半分近くの授業を大学や柳川リハビリテーション学院・大川看護福祉専門学校の先生が受け持たれているそうです(高大連携事業)。  
またICT教育の推進にも力をいれていることでした。「生徒の学力向上を図るためには、授業をかえなければいけません。ICTという道具をいれることで授業は変わらざるを得なくなりました。本校は、平成二十五年度に福岡県で初めて無線LAN環境のなかでICT教育に取り組み始めた、ICT教育の先進校でもあります。セキュリティのハードルが高く、セキュリティに詳しい関連会社と相談をしながら県に申請して、認めてもらうまでに半年かかりました、非常に厳しかったです。いまは同窓会やPTAの協力により、学校で購入したiPadが九十一台あります。電子黒板を共に用いたことで授業が劇的に変わりました。」  
ICT教育の推進だけでなく

く、毎日のどの授業も大切に  
するよう指導を行っているとお話されました。  
「中学校の内容を理解しきっていない一年生も多いため、一年生の課外でそれを補うようにしています。また文理科を中心に、デジタル学習分析も行っています。高校の範囲となると、どうしても学校の授業だけではついていけないところがあります。家庭学習、勉強習慣をつけさせないといけませんから。」



▲平成 24 年度教育文化表彰を受賞



▲検定試験・資格取得をがんばる生徒たち

### 自尊心を育てる教育

樟風高校に限らず、自尊感情、自分自身に自信が持てない生徒が多いそうです。そんななか、福岡県では『鍛えて、ほめて、伸ばす！ 子供の可能性』というものを提唱しており、樟風高校でも二つの取り組みを行っているとのことでした。

「一つはUPとPLUS(アプラス)賞です。先生が生徒の良いところを見つけたら褒めてやる。ただ褒めるだけでなく、褒めてやりたいと思ったことで簡単な賞状を作っています。一枚目は複写になっていて、一枚目は本人に、二枚目は担任の先生に、三枚目は中学校を回る先生に渡して出身中学校の先生にも見てもらうこともあります。二つ目は樟風ポイント制度です。生徒会、学校行事・資格・部活などを点数化して表彰しています。また今年は何点を目指すのかなど目標化させています。年度末にはたくさん生徒が表彰されています。」

社会に認められるためには、きちんと挨拶ができればならないというところで、立ち止まり一礼挨拶も実施されており、ほとんどの生徒がこれを実行できるとのことでした。

### 愛し愛される学校作り

『地域を愛し、地域に愛される学校』がコンセプト。二〇八

号線沿いにある正門は、創立十周年の際に、大川市民の皆様からの協力を得て作って頂いたものだそうです。道路に面した校門であるため、学校の雰囲気がよくわかり、地域の方からも「明るくなった」という話を聞くようになったとのことでした。

また来年度からは佐賀県からも定員の1割以内が進学できるようになり、さらなる発展が期待できる樟風高校。様々な未来の可能性を秘めた生徒を指導する立場にある山田先生の夢をお伺いしました。

「個人の教員としての夢は、自分が教えた生徒が再び誰かを教えるような立場、できたら教員になってくれると嬉しいですね。樟風高校へやってくる教育実習生が教え子の更に来た教え子だった事には、なんとも言えない感動がありました。校長としては、高校時代に自分はやればできるんだ、頑張ればできるんだという体験をして、社会に送り出して頑張っているような人を育てたいと思っています。社会において無駄な人間は一人もいません。一人ひとりを大切にしながら、自分の良さを自分で見つけられる生徒を育てる高校を目指していきたいです。」

※伝習館高等学校の定時制課程が平成二十七年より募集を停止しているため、入学が可能な定時制課程は近隣の市町村では樟風高校のみとなる。